



公明党
三上 裕久

効率的な行政運営について

質問 今年4月から低電圧の電力も自由化の対象となっているが、市内街路灯の電気料金年間約4、100万円を削減するための見解を伺う。

答弁 低電圧の電力は、道内自治体でも導入例が無い状況ですが、街路灯については、非常に大きな金額になっているので、今後メリット、デメリットを研究していきます。

質問 ごみ収集業務の一括発注による経費縮減と効率化を図ることとを目的に、組合設立へ向けて支援すべきと考えるが見解を伺う。

答弁 すでに中小企業等協同組合が設立され、平成29年度より入札参加資格への組合方式の採用を視野に検討しているところです。

安心して暮らせる環境づくりに ついて

質問 滝川版CCRC構想の進捗状況について伺う。

答弁 基本計画の策定に向けて事業者との契約締結に至ったので、年度内での基本計画策定を目指しています。

質問 将来を見据え、高齢化が進んでいる除雪オペレーターの育成について伺う。

答弁 受注業者が主体となり経験の浅いオペレーターに対して、熟練オペレーターが指導する運転実地研修会を今年度より開催する予定です。

教育環境について

質問 地場産品を取り入れた食育の現状について伺う。

答弁 各学校では、年1回生産者を招いた地元食材の栽培過程の学習や交流給食を通じて、子どもたちは、生産・調理する人たちへの感謝や食べ物を大切にする心を育んでいます。

質問 劣化・老朽化の激しいスポーツ施設の改修などの計画について伺う。

答弁 屋外施設の改修の必要性は、認識しているので、財源対策を含め年内に一定の方向性を示したいと思っています。



会派清新
荒木 文一

市立病院の現況について

質問 今年度のこれまでの経営状況について伺う。

答弁 前年と比較して診療収益は4月、5月ともに増額となっています。病床稼働率についても、4月が70%、5月は65%と、ともに増で推移しています。

医師の患者対応について

質問 医師による患者対応について、特に接遇面や医療処置の両面で不適切だという苦情が市民から聞こえてくる。これらのことが患者離れを引き起こしていると考えられるが、病院としてどのように組織対応しているのか伺う。

答弁 寄せられた苦情・意見については、所定の様式に対応や処理内容などを整理し、病院長まで決裁をとり、病院事業運営会議への報告や医局への張り出しなど、再発防止に努めています。場合によっては、直接指導も実施しているところと

るところです。

大学からの派遣医師への対応について

質問 派遣医師のモチベーション向上の目的で、インセンティブを与えることは可能か伺う。

答弁 極めて重要な課題と認識しています。規則整備などが必要となること、制度の公平性や納得度合などの難しい側面もありますが、現在、先進事例を調査しています。

中空知医療連携ネットワークについて

質問 6自治体病院間の情報共有の取り組み状況と重複検査を減らすことにより患者の身体的負担や経済的負担の軽減につながるが、ネットワーク構築による収入減の影響について伺う。

答弁 中空知医療連携協議会において連携体制を確認し、今年7月1日の稼働を予定しています。また、収益については、重複検査が無くなることから僅かながら検査件数は減少することが考えられますが、もともとの過剰な検査が減るため、やむを得ないと考えます。